学校番号	219

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「地学基礎改訂版」　（啓林館）						
副教材等	サンダイヤル地学基礎の基本マスター　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活の中で普段から観察できることや、災害などに関することが多い科目ですので、日ごろから自然現象に興味を持って授業を受けることがポイントです。また、学習した知識を使って、考察したり、実習に応用したりして、深く考えてもらいます。また、問題集にも確実に取り組み、家庭学習を欠かさないようにしましょう。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物･現象について､基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	実習プリント 授業プリント	定期考査 実習プリント 授業プリント	定期考査 実習プリント	定期考査 課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td rowspan="2">固体地球とその変動</td><td>地球の概観</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="2">a: 我々が生活する固体地球の表面の特徴について興味を持って学習に取り組む。
b: 地球表面・内部について理解し、他の惑星との相違について、考察・整理できる。
c: 地球の形と大きさについて観察、実習などを行い、基本操作を習得するともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できる。
d: 地球内部の層構造とその状態を理解し、知識を身につけることができる。</td><td rowspan="2">定期考査
実習プリント
授業プリント
課題</td></tr>
<tr><td>地球の内部構造</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">活動する地球</td><td>プレートテクトニクスと地球の活動</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:日本では身近なプレートの活動について興味を持って学習に取り組む。
b: プレートの運動と地球内部との関連について考察できる。
c:断層についての実習でプレートの活動と地震の関係性を考察する。
d: 火山活動と火成岩の形成と特徴について理解し、整理できる。</td><td rowspan="3">定期考査
実習プリント
授業プリント
課題</td></tr>
<tr><td>地震</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>火山活動と火成岩の形成</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td rowspan="3">移り変わる地球</td><td>地球の歴史の区分と化石</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a: 地質時代の成り立ちを理解し、その年代測定法と化石についての知識を身につけることができる。
b: 太古の地球における生命の誕生と進化について考察し、表現できる。
c: 生物の進化についての知識を身につけ、ヒトへの進化の道を理解、考察できる。また観察、実習や観測データなどの収集、処理を行いそれらの過程や結果を的確に記録、整理できる。
d: 地質時代が生物の変遷に基づいて区分されていることを理解できる。</td><td rowspan="3">定期考査
実習プリント
授業プリント
課題</td></tr>
<tr><td>先カンブリア時代</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>顕生代</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

	宇宙の構成	太陽系の天体	○			○	a:普段観測できる天体に興味を持ち、深く学習しようとする。 b: 生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を考察し、自分の考えを発表できる。 c: 太陽系を構成する天体の特徴を理解し、比較・整理できる。また太陽系の惑星についての観測データなどを収集、処理し、その結果を的確に記録、整理できる。 d: 太陽系の誕生と原始地球の誕生および地球の進化の様子を理解する。	定期考査 実習プリント 授業プリント 課題
		太陽系の誕生		○		○		
		太陽			○	○		
		太陽と恒星		○		○		
		太陽の誕生と進化	○	○				
		銀河系とまわりの銀河		○		○		
		宇宙の姿	○	○		○		
3学期	大気と海洋	大気圏	○			○	a:普段の生活における気候の変化に興味を持ち、深く学習する意欲を持つ。 b:気象に関するデータを収集し、他者に伝わるように表現する。 c:実習を通して、天気図記号で日本周辺の天気を表現する技能を修得する。 d:季節ごとの日本の気候について専門用語を交えて理解する。	定期考査 実習プリント 授業プリント 課題
		水と気象		○	○	○		